

ビービーシステム ExLook 2007とMS IWで 企業のIT基盤に進化する携帯電話

Exchangeの高度な電子メール機能を携帯電話から利用可能にするゲートウェイソフトExLookがマイクロソフトのオフィス向け業務ソリューションIW(Information Worker)製品への対応を打ち出した。進化を続けるExLookは企業の携帯電話の活用法を大きく変えていくことになりそうだ。

ビービーシステムから5月1日に発売された「ExLook 2007」は、携帯電話のブラウザでマイクロソフトの電子メール、メッセージサーバー「Microsoft Exchange Server(以下Exchange)」へのアクセスを実現したゲートウェイソフトExLookの最新版だ。

Exchangeは「Microsoft Office Outlook(以下Outlook)」をクライアントとして用いることで、電子メールの他、スケジュール管理、コミュニケーションのためのデータベースである「連絡先」など仕事に必要な多彩な機能を実現するが、Outlookで実現されるこれらの機能を、最も身近な情報端末である携帯電話で利用できるようにしようというのがExLookのコンセプトだ。

現在、ExLookは日本の全携帯電話・PHSキャリアの端末に対応している。またブラウザ版だけでなく、NTTドコモの端末向けにはExchangeと同期をとることで、電波の届かない場所

でもデータ参照や入力作業ができるiアプリ版もリリースされている。4月1日現在、718社、41万5000ユーザーを誇る。

今回リリースされたExLook 2007は、昨年12月に発

売されたExchangeの最新版「Exchange Server 2007」に対応するものだ。Exchange Server 2007は前バージョンの「2003」に比べて大幅な機能強化が図られており、これにともないExLookの活用領域も大きく広がろうとしている。ExLook進化の方向性とその可能性を探ってみた。

オフィスの外でも利用可能に

では、Exchange Server 2007では具体的にどのような機能強化が図られ



マイクロソフト
インフォメーションワーカー
ビジネス本部
IWインフラストラクチャ
マーケティンググループ
シニアプロダクトマネージャ
齋藤義憲氏

ビービーシステム
東日本統轄本部
営業部長
内藤裕之氏

ビービーシステム
東日本統轄本部
ビジネスコンシェルジュ
担当部長
齊藤勝美氏

たのだろうか。

マイクロソフトで日本におけるExchangeの製品展開を担当するIWインフラストラクチャマーケティンググループシニアプロダクトマネージャの齋藤義憲氏は「近年、電子メールは、企業の便利なツールというレベルを超えて、ビジネスに不可欠なIT基盤に進化することが求められています。Exchange Server 2007はこのニーズに応え得るものとして開発されました」と説明する。

オフィスの外でも Outlook の環境でメールが確認できる

外出先ではExLook

オフィス内では Outlook

ExLook で、場所を問わずにメールや予定表の確認が可能

使い慣れた携帯電話で Outlook の機能が利用可能

- ・メールや予定表が携帯電話ひとつで自由自在
- ・使い慣れた携帯電話での利用が可能(マルチキャリア対応)
- ・Windows Mobile デバイスにも対応済み

メールに加えて様々な機能をもつExLook

Outlook の機能をそのまま利用可能

- ・他人の予定表の参照機能
- ・メモ、仕事の確認が可能
- ・不在通知設定の有効化・無効化が可能

Microsoft サーバー製品との連携機能

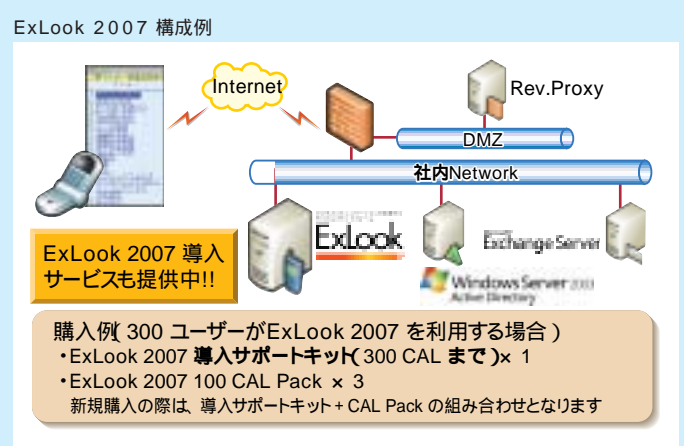
- ・Exchange パブリックフォルダアクセス機能
- ・データベース参照機能
- ・Active Directory によるユーザー認証

Coming Soon !!

Office SharePoint Server 連携機能を提供予定

- ・SharePoint サイト上のリスト参照機能
- ・ワークフローの承認操作

本記事に記載されている製品名、会社名は各企業の商標または登録商標である場合があります。



具体的には 生産性の向上、セキュリティとコンプライアンス(法令遵守)の強化、管理性の向上という3つの側面で大幅に機能が向上した。

ExLook 2007は、この中の主にこの領域においてExchangeの進化の一翼を担うものだ。

まず、の「生産性の向上」これには様々な方法論があるが、Exchangeが目指すのは「いつでもどこでもコミュニケーションが素早くとれることです。社員や会社全体の状況判断が速くなり、正確な情報が伝わることで、売り上げを伸ばし、結果として業務改善を進めることとなります」(齋藤氏)である。

これを実現するアプローチの1つは言うまでもなくExchangeの電子メール機能やそれをベースとしたコラボレーション機能の拡充である。

さらにもう1つ重要なアプローチとなるのが、オフィスの外にいる時でもこうしたExchangeの便利な機能を利用できるようにするモビリティの向上だ。マイクロソフトが今、特に力を入れているのが後者である。

Exchangeではこのニーズに応えるために2つの仕組みを用意している。1つがPCのWebブラウザからExchangeの機能を利用できるようにする「Outlook Web Access」、もう1つがスマートフォンなどのWindows

Mobile搭載モバイルデバイスとExchangeとの間でデータ同期をとることができる「ActiveSync」だ。

さらに、Exchange Server 2007では新機能としてユニファイドメッセージングに対応、音声を使ったメッセージングコミュニケーションが可能になっている。

ところがこうしたExchange Server 2007のモビリティ対応では、携帯電話はサポートされていない。その理由には日本の携帯電話インターネットが海外とは異なる仕様が用いられていることや、またキャリアによっても仕様が異なることから対応が難しいことなどがあげられる。この問題を解消し、Exchange Server 2007のモビリティを携帯電話にまで拡張するソリューションがExLook 2007なのである。

アーキテクチャを一新

次にのセキュリティとコンプライアンスの観点から見てみることにしよう。

IT基盤として電子メールを活用するためには、不正侵入などのリスクからシステムを守るセキュリティ対策が不可欠だ。さらに障害対策や可用性の向上も必要となる。

加えて最近では、政府から要求されるコンプライアンスへの対応も喫緊の課題として浮上してきた。例えば米国のSOX法では電子メールのデータを3年間、しかもすぐに取り出せる状態で保

管することが求められている。すでに日本でも大手企業を中心に、そのような対策を急務に行う必要があるという意識が高まっており、企業内システムへの対応が目立って増えてきている。

Exchange Server 2007では、こうしたセキュリティとコンプライアンスの高度なニーズに対応するために、アーキテクチャを一新した。ExLook 2007の最大の進化はこの新アーキテクチャに対応したことといえる。

また、セキュリティの観点から見ると、ExLookを使ったシステムは携帯電話のブラウザで情報にアクセスし、端末には一切データを残さないという点ではPCを用いるシステムより有利になる、iアプリ版でもデータを暗号化することでセキュリティが担保されている。

最近、情報漏洩の懸念からPCの社外への持ち出しを禁止する企業も増えているだけに、ExLook 2007はExchange Server 2007のモビリティ拡大を図る上で極めて重要な役割を担っているといえる。

SharePointにも対応

Exchange Server 2007の新アーキテクチャへ対応したことで、ExLook 2007はその活用領域を大きく広げようとしている。同様のアーキテクチャを採用するマイクロソフトのオフィス向けソリューション、IW(Information Worker)

製品のサーバーへの対応が容易になったからだ。

IW製品は、オフィスの生産性向上を実現するためのソリューションをパッケージとして提供するもので、業務の承認プロセスの電子化やプロジェクトにおける情報共有などを実現する「Microsoft Office SharePoint Server 2007」(以下SharePoint)や顧客関係管理の「Microsoft Dynamics CRM」などがリリースされている。これらのIW製品はいずれもOutlookを標準クライアントとして利用している。

ビービーシステム 東日本統轄本部営業部 部長の内藤裕之氏は「まず今年9月を予定し、ExLook 2007によるSharePointのサポートを実現します。当初はドキュメントの一覧を表示したり、簡単なワークフローの承認ができる程度の機能の実装にとどまるとは思いますが、順次機能を拡充していきます」と語る。

ExLook 2007は、Exchangeのみならず広範な業務系ソフトに対応するモバイルプラットフォームに進化しようとしているのだ。

相乗効果を発揮

次世代電子メールサーバーといえるExchange Server 2007とそのモビリティ拡大に不可欠の存在といえるExLook 2007は、販売面でも極めて有効な相乗効果を発揮し始めている。

ビービーシステム 東日本統轄本部ビジネスコンシェルジェ部 担当部長の斉藤勝美氏は「当社ではExchange構築サービスの一貫としてExLookを提案してきましたが、最近ではExchangeにモバイル機能を付加したいという企業様からExLookのお問い合わせが増

ExLook価格表

製品名	内容/仕様	標準価格(税込)
ExLook 2007 導入サポートキット(300CALまで)	CD-ROM	¥315,000
ExLook 2007 導入サポートキット(301から1,000CALまで)	CD-ROM	¥840,000
ExLook 2007 10CAL Pack	10CAL 証書	¥105,000
ExLook 2007 50CAL Pack	50CAL 証書	¥472,500
ExLook 2007 100CAL Pack	100CAL 証書	¥840,000
ExLook 2007 500CAL Pack	500CAL 証書	¥3,675,000
ExLook 2007 1000CAL Pack	1000CAL 証書	¥5,775,000

3,000 CAL 以上のライセンスもご用意しております。詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ先

株式会社ビービーシステム営業部

東日本:03-5777-2801 / 西日本:06-6944-1077
ホームページ: <http://www.bbsystem.co.jp/>
メール: product-exlook@bbsystem.co.jp

えています。構築サービスの受注につながるケースもできました。お客様の意識が変わってきているのだと思います。マイクロソフト様と協力してIW製品を使ったモバイル環境の情報インフラを普及させていきたいと考えています」と意気込む。

マイクロソフトでも積極的にExLook 2007の支援に動き出している。

ビービーシステムは、Exchangeの機能強化を図る製品を提供するISVパートナーとして認定されているが、マイクロソフトは、このフレームを用いてセミナーやWebサイトで積極的にExLook 2007を紹介している。

またマイクロソフトでは昨年12月から今年6月末まで、インターネット上にExchange Server 2007の体験サイト「Try Exchange」を公開しているが、これにもExLook 2007が導入されており、PC上のOutlookやWebブラウザだけでなく携帯電話からもExchange Server 2007の使い勝手や機能が確認できるようになっている。

販売協力にも乗り出した。マイクロソフトの齋藤氏は「パートナー様やエンドユーザー様への販売・マーケティング

グ部隊では、携帯電話でExchange Server 2007を使いたいというお客様にExLook 2007を組み合わせたご提案をしています。これにより多くのお客様にExchange Server 2007を御導入いただくことが可能になります」という。

Exchange Server 2007の普及することでExLook 2007が伸び、ExLook 2007が提供するモバイル機能がExchange Server 2007の販売機会を拡大する。こうした相乗効果により、日本のオフィスのIT化が今大きく進展しつつあるといえるだろう。

ビービーシステムでは、今後ExLookによる対応をSharePoint以外のIW製品にも順次拡大していく考えだという。

こうした環境が整備されることで、企業における携帯電話の使われ方は、今後単なるコミュニケーションツールからIT基盤へと大きく変貌することになりそうだ。

お問い合わせ先

株式会社ビービーシステム

営業部

東日本: 03-5777-2801

西日本: 06-6944-1077

URL: <http://www.bbsystem.co.jp/>

E-mail: product-exlook@bbsystem.co.jp